



## ガラスは何でできているの

### けい砂、ソーダー灰、石灰石から作る

ガラスは、わたしたちの生活になじみの深いものです。ガラスの食器や窓ガラスなど、いろいろなものに使われています。

ガラスにはいろいろな種類があって、その種類によって少しずつ材料がちがいますが、ふつうのガラスは、けい砂、ソーダー灰、石灰石の3つの材料を混ぜ合わせたもので、作ります。

### 高い温度のかまの中で作る

けい砂は、とう明できらきら光っているもので、砂の中によく見かけるガラスのかけらのようなものです。石灰石は、石灰岩のことで、炭酸カルシウムからできています。貝がらやサンゴにふくまれています。ソーダー灰は、炭酸ナトリウムのことで、工業的に作られます。

ガラスは、これらの材料を、約1500の高温のかまの中でどろどろにとかし、それを引きのばして作ります。どろどろにとけたガラスを管の先につけて、息をふきこみながらコップや花びんなど、いろいろの形のものを作ります。板のように平らにのばしものが板ガラスです。

### いろいろな種類のガラス

材料を少し変えることによって、いろいろな種類のガラスができます。高温にたえられる石英ガラスは、ほとんどがけい砂でできています。また、切りこみ模様の美しい、カットガラスは、3つの材料のほかに、鉛を混ぜて作ります。（監修・小川 格）

